

2012年7月15日

十和田八甲田地区  
パークボランティア連絡会  
第85号 会報

事務局（発行者） 阿部幸子

青森市中佃 2-15-5

Tel・Fax 017-741-8068

E-mail [pv.0514@ruby.plala.or.jp](mailto:pv.0514@ruby.plala.or.jp)



7月を迎え、南北八甲田山も高山植物が競うように花を咲かせる季節となった。



今年は豪雪の影響から例年に比べて遅れぎみの開花となったが、それでも一旦花が咲きだすと湿原が一面にお花畑と変わっていく様に、とても感動させられる。中には他の植物の開花に負けまいと、残雪の隙間から可愛い花をのぞかせるたくましい個体もあり、ついおかしさが込み上げてしまう。

6月中旬、青森県も例年通り梅雨に入り、曇り空の日が続いていたが、7月は一転晴れの日が多く今年には空梅雨の気配がする。反面、梅雨前線が停滞している九州地方の大雨とその被害の状況に複雑な心境だ。一昨年の猛暑、昨年の南近畿地方の豪雨、そして今冬の豪雪や今回の大雨・竜巻など、気象変動の激しさに戸惑いを感じているのは、心配性の私だけだろうか。

高田記

活動報告

「高山植物等盗掘防止合同パトロール」

田中 定男



7月8日（日）9時、薄曇りのなか善光寺平地域のパトロールに出発しました。今回は、環境省、県自然保護課各を含む総勢十七名の参加者でした。（PVからは11名参加）気温20、無風に近い快適な状況でした。

登山道は晴天が続いたこともあり、ぬかるみは少なかったが、途中、道路に笹や樹木が覆い被さる部分もあり、その程度は年々ひどくなっているように思いました。御鼻部山分岐点からは更にひどく、特に復路の際、手に持った鉄杭が藪にからまり前進するのが難儀であったり、枝に躓いたり、洗堀となった登道路の斜面で滑ったりと難行苦行の連続で、もはや登山道とはいえないのではないのでしょうか。その苦勞の一方で、ようやく着いた谷地に咲くニッコウキスゲが一段と鮮やかに見えました。鶯の声を聞きながら足下を見るとアカモノの小さな花が今を盛りと咲いていました。ウラジロヨウラクはまだ蕾です。大谷地までの往復で誰にも会いませんでしたが、途中ゴミやタケノコの皮が大量にすてであったり、山菜採りがかなり入っていると想像されました。大谷地、袖ヶ谷地などの深部でかなり笹や柴が伐採されていて、太い物で5cm前後の枝もあり、心ない人がいることを非常に残念に思いました。しかし、その一方で、このすばらしい風景がもつと安全に多くの人に見てもらえるように登山道整備をお願いしたいと思いました。

15時30分、無事にパトロールは終了。今回、PVではパトロールに合わせ、大谷地湿地に張ったロープと鉄杭の撤去作業を行いました。全てのロープ、鉄杭を搬出予定でしたが、資材量が多かったこと、藪こぎがひどく搬出が困難であったことから、前谷地から手前の湿地の撤去作業は次の機会としました。

（写真：前谷地湿原にて）



### 「田代平湿原ロープ張り作業」

石渡 武夫

6月3日(日)、会員12名と環境省の松山さんに参加いただき作業を行いました。残雪の状況から予定より一週間遅れての実施。当日は天気にも恵まれ、いつものように設置場所の番号札が付いたロープを持ち湿原へ。木道には設置場所の目印になるビヨウが打つてあるので(昨年から)スムーズに設置が進行。約1時間の作業でした。終わって会員からの意見として、

杭の間隔にバラつき

杭(鉄製)の曲がり

ロープのへたり 等が指摘されましたので、

作業責任の私に対応することにしました。今回、湿原の中央部にチングルマの群生を見ました。湿原全体の環境変化の深刻さを感じます。人的介入の導入を含めた関係者の議論を望みます。作業後は、グダリ沼を散策。オオヤマザクラと清流が作業の疲れを癒してくれました。参加の皆様、ご苦労さまでした。



### 「残雪期登山道パトロール(薬師沢ロープ張り作業)」

若杉 隆明(青森市)

3月で職場を定年退職したのを契機に体重減量と脚力回復を目的に仲間入りさせて頂くことになりました。

6月10日(日)、会加入を契機に四半世紀振りに八甲田に行きました。

阿部さんと田村さんにきつかったら途中で戻ってきてと優しく励まされ14名の後を追いました。私の今回の目的は、「とにかく歩くこと」、作業の方は、ロープ張りや水抜き作業中の皆さんを補助する。登山道に落ちている太い枯れ枝を脇に移す。という2点に徹しました。

秋までに体重を相当量減らし、皆さんと同レベルの力仕事ができるようになりたいと思います。ベテランの皆様、宜しくご指導ください。時代の流れかもしれないませんが、仙人岱ヒュッテ、ずいぶん賑やかに利用する人達もいるようになったものだなと感じました。



高田 光明

6月23日(土)、この日の活動は井戸岳植生復元作業・調査日でしたが、私たち6名は薬師沢ロープ手直しと登山道パトロールに回りました。

出発時は霧雨、途中から小雨に変わり、あいにくの天気となりましたが誰ひとり弱音を吐く事もなく、ぬかるんだ登山道の排水整備、雪の斜面のステップ切りなど、たんたんとして作業する姿にプロフェッショナルなカッコ良さを感じました。仙人岱で小休止の後、薬師沢雪斜面のロープ手直しに掛りましたが、予想していた通り6月10日に敷設したロープは本来の登山道ルートから大きく外れていて(残雪の多さから)、手直し作業はとて莫労力がかかる作業となりました。

作業完了後直ちに下山を開始、昼過ぎ酸ヶ湯に無事到着。この日のプロフェッショナルな皆さん、お疲れさま。



6月23日：ロープ手直し / 雪斜面ステップ切り

6月10日：ロープ張り / 倒木片付け



### 「秋田・十和田湖クリーンアップ大作戦」

馬渡 和民（八戸市）

6月29日は朝から快晴で新緑がまぶしい中、発荷峠周辺での美化活動に参加した。

昭和61年から小坂町など15団体と、今回初めての十和田八甲田地区PVの10名と、環境

省十和田自然保護官事務所から2名も加わった。

10時の開会式後すぐに6班に分かれ活動を開始した。カツラの木の香りに誘われ、ゴミを可燃物と不燃物に分別し回収して歩いた。時折野草の姿が目の保養をし、又鳴き声がヨードルのようなアオバトの囀りには感動した。空き缶とタバコの吸い殻が多かった。

1時間後の閉会式で主催者側から、昨年は大雨で中止したのでゴミの量が多いのではないかと懸念していたが、量に変化がなかったので安堵したと話していたのが印象的であった。

帰路は大湯温泉に入浴し、昼食にトン汁に舌鼓を打った。

とても有意義な1日でした。



### 「南八甲田山ロープ張り作業に参加」

阿部 幸子

6月予定の南八甲田登山道ロープ張り作業を、今年の大雪の影響から7月10日に実施したいとの連絡があり、PV6人と環境省AR嶋村さんと、猿倉温泉から午前7時に出発。（7月8日の八甲田山高山植物等盗掘防止パトロール活動直後のため、事務局から直接6人に協力をお願いしました）

雪解け水が登山道を川の如くに流れていたが、歩き始めは思いの外ササの刈り払いがされて、快適に進むことが出来た。しかし多雪の影響で倒木が多く道を塞ぎ、跨いだり、潜ったり、木に頭をぶついたり、南八甲田に何回来ても学びのない事務局でした。

今回の作業は黄瀬沼入口と櫛ヶ峰登山道口にロープを張る事。一の沢を過ぎた辺りから藪漕ぎで、爽やかな風が吹くものの歩く度に汗がにじむ。道々、アカモノの群落の中に、ハクサンチドリの花が1本咲いていた。11時20分頃櫛ヶ峰の現場到着。チングルマ・イワカガミが咲き誇る中ロープ張り作業終了。昼食後、櫛ヶ峰登山道の木道まで足を延ばし目の前の櫛ヶ峰を望む。自身の体力からもう登ることはないな、と思いつつ下山を始め猿倉に全員無事到着。南八甲田山はこれが最後の思いで

参加しましたが、同行の皆さんには気をつけて頂き、思い出深い山行でした。お疲れさまと同時に、有難うございました。



### 野生植物を守ろう！

【美しい花や樹木を次世代に引き継ぐために！】

私たちの目をひくきれいな草花や樹木は自然の歴史の遺産。進化を重ね、地域の自然環境に適応して生きています。豊かな自然は先人たちが引き継ぎ、地域に受け継がれてきたかけがいのない財産です。

湿原は人の踏みつけに特に弱い自然です。

八甲田山などに見られるミスゴケ湿原は、分解しにくい植物遺体（泥炭）が高く積もってできたもの。水分環境の変化により植物が変化を起こしやすく、人の踏み付けは湿原の乾燥化の原因となつている。泥炭堆積量は年間1ミリ程度といわれ、一足の踏み付けで長い年月を経た泥炭の成長過程が一瞬で失われてしまう。荒廃しやすい高山植物。

高山地帯の草花は厳しい環境の中で精一杯生きています。盗掘やルール無視の踏み込みで一度荒廃した植物は回復が困難です。

（県自然保護課発行小冊子から）

7・8月の活動予定

7月22日(日)

【夏休み予習企画！十和田湖フチ研究】

(環境省主催自然観察会)

十和田湖生分野営場自然観察会

開催時間：9時～14時

PVから講師2名・サポート4名募集

詳細は事務局へ問い合わせ願います

7月26日(木)

【オオハンゴンソウ駆除作業】

十和田湖宇樽部地区での作業

集合時間：8時50分～12時

集合場所：十和田湖畔宇樽部船着き場

申込み切：7月23日迄

7月27日(金)

【井戸岳植生復元作業】

集合時間：8時30分～14時30分

集合場所：酸ヶ湯インフォメーションセンター集合

申込み切：7月25日迄

7月28・29日(土日)

【八甲田の自然を満喫！酸ヶ湯グリーン

キャンプ】(酸ヶ湯協議会自然体験プログラム)

開催日時：28日12時～29日12時

一泊二日

開催場所：酸ヶ湯キャンプ場、毛無代、

田代平湿原、グダリ沼

PVからサポート4名程度募集

申込み：7月20日迄(詳細は事務局へ)

7月28日(土)

【南八甲田櫛ヶ峰パトロール】

PV自主活動

南八甲田山：猿倉温泉～一の沢(旧道)

地獄峠～櫛ヶ峰山頂往復(登山道の状況

が良ければ帰路は駒ヶ嶺猿倉岳経由)

大変体力のいるコースです。PVの

つわ者 参加願う(長クツ推奨)

集合時間：7時30分～16時

集合場所：猿倉温泉南八甲田登山口駐車場

申込み切：7月25日迄

【井戸岳植生復元作業】

集合時間：8時30分～14時30分

集合場所：酸ヶ湯インフォメーションセンター集合

申込み切：8月3日迄

5月からの活動参加者

： 薦沼自主活動(5月6日) 30名

淡路・石渡・今井・小原・川村年・北山

日下・工藤樹・小堀・下村・田村正・夏堀

東島・法量・馬渡・三浦・山田巖・山田賢

山本正・和田・前田吉崎・小笠原・工藤順

小泉・下山・西館・畠山・中野・阿部

十和田湖西岸(5月13日) 16名

東島・法量・石渡・川村成・北山・氣田貢

宗前・山田賢・小笠原・川村喜・氣田照・小泉

西館・前田・吉崎・阿部



5月からの活動参加者

： 境省主催薦沼遊歩道整備作業(5月17日) 28名

淡路・小原・川村勝・川村年・北山・氣田貢・須藤

高橋昭・田村正・津川・対馬・鳥谷部・夏堀・畑・針生

東島・福士・三浦・山田巖・山本正・和田・神・赤坂

氣田照・小泉・下山・前田・阿部

田代平湿原ロープ張り(6月3日) 12名

福村・福士・小堀・猪狩・石渡・葛西・北山・三浦

山田巖・山本正・小泉・阿部

残雪期登山道パトロール(6月10日) 15名

石渡・市川・猪股・今井・川村年・北山・高橋昭

田村正・夏堀・平川・福士・三浦・若杉・田村早・阿部

井戸岳植生復元作業・パトロール(6月23日) 14名

猪狩・市川・猪股・木村・高田・高橋昭・東島・平川

法量・三浦・山田巖・小笠原・清藤・阿部

秋田十和田湖クリーン作戦(6月29日) 10名

淡路・小原・宗前・鳥谷部・東島・馬渡・山本光・前田

赤坂・阿部

南八甲田合同パトロール(善光寺)(7月8日) 11名

猪股・市川・田中・山本正・若杉・宗前・高田

前田・吉崎・下山・阿部

南八甲田ロープ張り・パトロール(7月10日) 6名

夏堀・福士・東島・館・小笠原・阿部

【PV事務局からお知らせ】

青森県各地でお祭りの季節となり、酸ヶ湯や八甲田山が観光客で賑わいます。酸ヶ湯ICの窓口に詰める会員のご協力をお願い致します。